

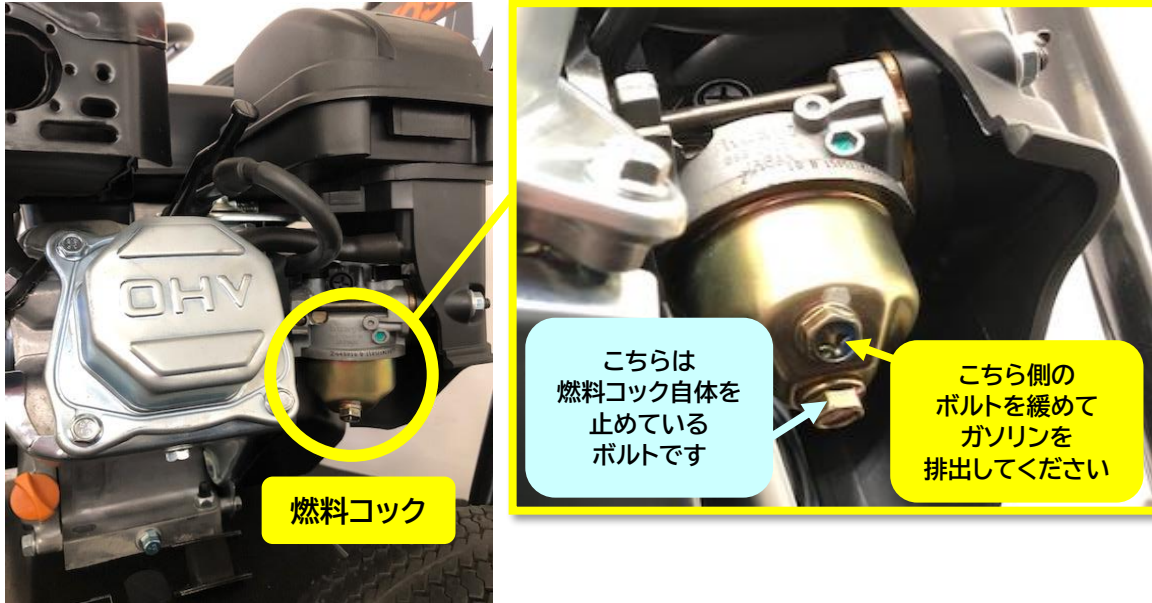
長期保管前にする事

①燃料を抜く

エンジンを30日以上使用しない場合は、燃料(ガソリン)を抜いてください。
60日以上使用しない時はエンジンオイルも抜いて頂き
次回使用時に新しいエンジンオイルを注油して下さい。
30日以上60日未満の時は燃料(ガソリン)を抜くだけで問題はありません。
また、燃料タンク内に残っている燃料は通水状態で低速運転をして使い切ってください。

ガソリンを抜くところ・ドレン口

JCE-1408U・JCE-1408UDX・JCE-1510UK

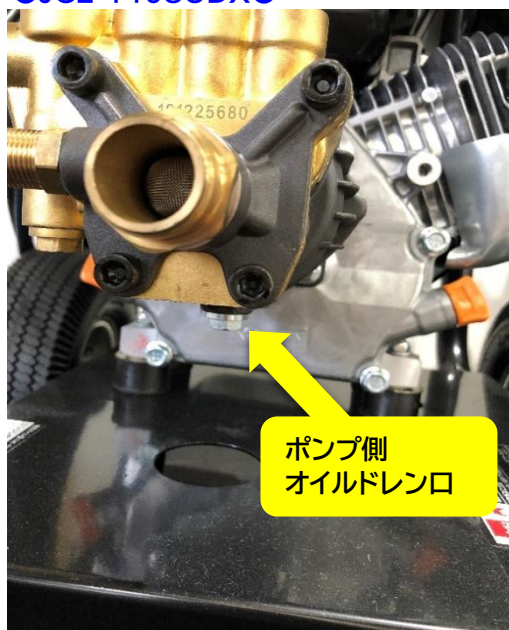


エンジンオイルを抜く箇所・オールドレン口

●JCE-1408U●



●JCE-1408UDX●



●JCE-1510UK●



②水抜きをする

冬期間に凍結する恐れのある地域では、必ず水抜きを行ってください。
部品の割れの原因になります。

①吸入ホース・吐出ホース・洗浄ガンをそれぞれ取り外してから内部の水を抜いてください。

洗浄ガンはレバーを握って残水を抜いて下さい。

レバーを握らないと弁が開きませんので残水は抜けません。

②ポンプは単体の状態(ホースを外した状態)でリコイルを数回引いて
ポンプ内の水を排出させてください。

③その他

- エンジン・ポンプ・洗浄ガンなどに付着した汚れを拭き取ってください。
 - 保管時はポンプや洗浄ガンを良く乾燥させ、直射日光の当たらない場所に収納してください。
乾燥させていないと、エンジンの錆びや故障の原因となります。
- ※長時間放置しているとタイヤの接地面が変形(平な形)することがありますが、しばらくお使い頂くと元の形に戻ります。
定期的にタイヤを回して地面との設置位置を変えると変形は起こりにくくなります。
これはノーパンクタイヤの特性で、異常ではありません。